

# 第16回高知港海岸地震津波対策技術検討会

## 議事概要

### 1 開催概要

日 時：令和7年10月28日（火）9：00～12：00（web会議）

場 所：高松サンポート合同庁舎北館1303会議室  
(専門家、関係者はweb接続)

目 的：本検討会は、高知港海岸（直轄区間）の整備をより効率的・経済的に進めていくため、地震津波対策を検討する段階において、景観・利便性等にかかる条件に配慮しつつ、新技術の適用性やコスト縮減・対策方法の妥当性等について専門家の助言等を頂き、要求性能の確実な確保について検討することを目的とする検討会である。

#### 【専門家】

座長 菅野 高弘 (海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 フロー)

高橋 英紀 (東京海洋大学 学術研究院 海洋資源エネルギー学部門 教授)

竹信 正寛 (国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部)

港湾施設研究室長)

鶴田 修己 (海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 沿岸水工研究領域)

耐波研究グループ長)

野津 厚 (海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所)

特別研究主幹（地盤・構造研究担当）)

#### 【オブザーバー】

鈴木 高二朗 (海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所)

特別研究主幹（沿岸・海洋研究担当）)

宮田 正史 (国土交通省 国土技術政策総合研究所 研究総務官) 【欠席】

【関係者】

- 浅見 尚史 (国土交通省 四国地方整備局 港湾空港部 部長)  
野本 啓介 (国土交通省 四国地方整備局 高知港湾・空港整備事務所 所長)  
宮本 裕輔 (国土交通省 四国地方整備局 高知港湾空港技術調査事務所 所長)  
岡本 通伸 (高知県 土木部 港湾・海岸課 課長)  
田原 圭 (高知市 都市建設部 副部長)

## 2 検討内容

【審議事項】

- ① 高知港海岸湾口地区（浦戸/御畠瀬工区）の要求性能及び設計条件（案）
- ② 高知港海岸湾口地区長浜水門の要求性能及び設計条件（案）

## 3 検討結果概要

### 1) 高知港海岸湾口地区(浦戸/御畠瀬工区)の要求性能及び設計条件(案)

- ① 提案された要求性能及び設計条件（案）は概ね妥当である。ただし、以下の②～⑤について留意すること。
- ② 工区界で津波による浸水が発生しないように、上部工等の異なる形式・形状のつなぎ方に工夫が必要である。
- ③ 長尺矢板の発生曲率に応じたモーメントの低下を考慮すること。
- ④ 水平変位量に応じて、幾何学的に天端が下がることを考慮すること。
- ⑤ Ag1 層及び Dg1 層の液状化パラメータの設定内容を再確認すること。

### 2) 高知港海岸湾口地区長浜水門の要求性能及び設計条件(案)

- ① 提案された要求性能及び設計条件（案）は概ね妥当である。ただし、以下の②～⑤について留意すること。
- ② 津波の押し波引き波と衝突荷重について、考慮する作用ケースを明確にすること。
- ③ As2 層を全て同一地層と扱うのかグループ分けして別扱いにした方がよいのかを確認すること。
- ④ 越流時の最大波力は、前面と背面が最大水位差となる時点で発生することに留意すること。
- ⑤ 水門構造の地震時安定性照査は、FLIP による動的解析のほか、従来のフレームモデル等での静的解析が考えられるため、本設計での解析手法を整理すること。